■正しくご使用ください

詳細については、取扱説明書(マニュアル)をご参照ください。
取扱説明書(マニュアル)はWebサイトよりダウンロードできます。

配線

本装置を使用する地域の該当規格を参照し、本装置を設置してください。また、接地障害等による危険な誤動作を発生させないよう考慮してください。

- 配線作業は、必ず電源を切った状態で行なってください。
- 電源入力は、定格を超えないよう電源変動をご確認ください。
- 電源に市販のスイッチングレギュレータをご使用になる場合には、必ず電源のフレームグランド(F.G.)端子を接地してください。
- センサ取り付け部周辺にノイズ発生源となる機器(スイッチングレギュレータ、インバータモータなど)をご使用の場合は、機器のフレームグランド(F.G.)端子を必ず接地してください。
- 高圧線や動力線との並行配線や、同一配線管の使用は避けてください。誘導による誤動作の原因となります。

インタロック機能

- インタロック設定入力(薄紫)の配線により、手動リセット／自動リセットの選択が可能です。手動リセットを選択することにより、インタロックが有効になります。

インタロック設定入力線(薄紫)	インタロック機能
PNP出力使用時：+Vへ接続 NPN出力使用時：0Vへ接続	手動リセット
開放	自動リセット

インタロック機能を使用する場合、危険領域に作業者がいないことを必ず確認してください。このことに起因して死亡または重傷を負うおそれがあります。

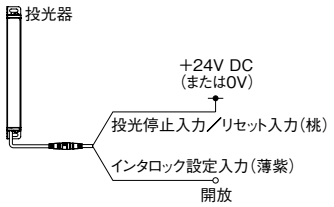
手動リセット

- 本装置が入光しても制御出力(OSSD1、OSSD2)が自動的にONしません。本装置が入光状態のときにリセット[投光停止入力／リセット入力を開放→0Vまたは+Vに短絡→開放]することで、制御出力(OSSD1、OSSD2)がONします。

リセットボタンは、常に危険領域全体が把握でき、かつ危険領域外で操作できる場所に設置してください。

自動リセット

- 本装置が入光したときに制御出力(OSSD1、OSSD2)が自動的にONします。



本装置を自動リセットで使用する場合、安全出力遮断後のシステムの自動復帰をセーフティリレーユニットなどで防止してください。(EN 60204-1より)

- ハンディコントローラ**SFB-HC**(別売)を用いて、インタロック条件を変更することが可能です。詳細については、製品付属の取扱説明書をご参照ください。

投光停止機能

- 投光器の投光動作を停止させる機能です。
  投光停止入力／リセット入力線(桃)の状態で、投光／投光停止の選択ができます。

インタロック機能	投光停止入力／リセット入力線(桃)	投光停止入力	制御出力状態(OSSD1、OSSD2)
手動リセット	開放	無効	ON
	PNP出力使用時：+Vへ接続 NPN出力使用時：0Vへ接続	有効	OFF
自動リセット	開放	有効	OFF
	PNP出力使用時：+Vへ接続 NPN出力使用時：0Vへ接続	無効	ON

- 投光停止中は、制御出力(OSSD1、OSSD2)がOFFとなります。
- 本機能を用いることにより不要な外来ノイズによる誤動作や制御出力(OSSD1、OSSD2)および補助出力の異常を装置側でも確認することが可能となります。
- 投光停止入力／リセット入力線(桃)を0Vまたは+Vに接続(手動リセットの場合、開放)すると通常動作に復帰します。

投光停止機能は、**SF4B-C**シリーズを設置している機械を停止させる目的で使用しないでください。死亡または重傷を負うおそれがあります。

外部デバイスモニタ機能

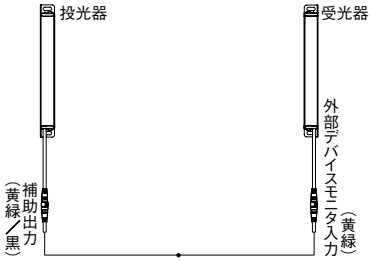
- 制御出力(OSSD1、OSSD2)に接続された外部セーフティリレーが、制御出力(OSSD1、OSSD2)に従い正常に動作していることをチェックする機能です。外部セーフティリレーのb接点をモニタし、接点の溶着などの動作不良による異常が検知された場合、本装置をロックアウト状態にし、制御出力(OSSD1、OSSD2)をOFFします。

外部デバイスモニタ機能を有効にする場合

- 外部デバイスモニタ入力(黄緑)を、制御出力(OSSD1、OSSD2)に接続した外部セーフティリレーに接続してください。

外部デバイスモニタ機能を無効にする場合

- 外部デバイスモニタ入力(黄緑)と補助出力(黄緑/黒)を結線してください。このとき補助出力の動作モードは、「制御出力(OSSD1、OSSD2)の負論理」(出荷時の設定)としてください。
- 外部デバイスモニタ機能を無効にした場合、補助出力に外部機器を接続することはできません。



- ハンディコントローラ**SFB-HC**(別売)を用いることにより、外部デバイスモニタ機能を無効にすることができます。詳細については、製品付属の取扱説明書をご参照ください。